

各 位

2023年9月29日

株式会社 GRCS

代表取締役社長 佐々木 慈和

東証グロース：9250

マテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

株式会社 GRCS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 慈和、以下 当社）は、持続可能な社会の実現と当社の企業価値の向上を目指して、サステナビリティに関するマテリアリティ（重要課題）を特定したことをお知らせします。

<マテリアリティの特定>

当社は、企業理念として掲げている「進化に、加速を。」「世の中を、テクノロジーでシンプルに。」の実現にむけ、急速に進化するこの時代をリードし持続可能な社会を目指して優先的に取り組むべき重要課題を、マテリアリティとして特定しました。国際的フレームワーク（GRI スタンダード、SASB スタンダード、SDGs 等）に基づき特定したマテリアリティへの取り組みを通じ、お客様、社会、環境との連携、ステークホルダーとの信頼関係を築き、より持続可能な未来に向けて積極的に行動していきます。

優先的に取り組む重要課題	関連するSDGs Goal	2024年度の主な取組み目標
安心、安全な社会の実現	  	<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全に寄与するサービスの拡充 セキュリティ教育・啓蒙のためのブログの継続公開
働きやすさの追求と能力最大化	    	<ul style="list-style-type: none"> 有休、育休などの休暇取得促進や残業時間の管理で、従業員のワークライフバランスを実現 従業員が意欲や集中力を高め成長できる環境構築
ガバナンスの強化と支援	 	<ul style="list-style-type: none"> 透明性ある公正な経営、従業員へのコンプライアンス教育、指導を徹底 自社製品の販売を通じ、企業リスクの可視化や管理を強化し企業の持続可能性を支援

マテリアリティの詳細やサステナビリティに関する活動は当社ウェブサイトにて公開しています。

<https://www.grcs.co.jp/corporate/esg>

<マテリアリティ特定プロセス>

当社ではマテリアリティの特定にあたり、社内横断的な推進メンバーによる提案、及びマネジメントメンバーによる検討の2段階2体制を取りました。

Step : 1

社会課題の把握

社内横断のプロジェクトチームを発足し、GRIスタンダード、SASBスタンダード、TCFD、SDGsなど国際的フレームワークを理解、基本となる社会課題をリストアップしました。

Step : 2

課題の優先順位付け

SASBのセクター(業種)別マテリアリティマップを参考に、当社のマテリアリティマトリックスを作成。バックキャスト思考で未来の理想の姿を描き、重要課題を特定しました

Step : 3

マネジメント層での議論と決定

特定した重要課題をマネジメントメンバー側で再検討。
経営戦略、事業戦略との融合を練り、3つの重要課題を決定しました。

Step : 4

経営の意思決定

Step : 3 で決めた案を取締役会で検討し決定しました。

<会社概要>

会社名 : 株式会社 GRCS

代表者 : 代表取締役社長 佐々木 慈和

所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル5階

設立 : 2005年3月

資本金 : 303百万円

上場市場 : 東京証券取引所グロース (証券コード : 9250)

事業内容 : GRC・セキュリティ関連ソリューション事業

URL : <https://www.grcs.co.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社 GRCS IR担当
E-mail: ir@grcs.co.jp